

## 小松泰信 教授 略歴・業績目録

1956年11月17日 生

### 学 歴

1975年3月 大阪市立高等学校卒業  
1975年4月 桃山学院大学社会学部入学  
1979年3月 桃山学院大学社会学部卒業  
1998年4月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程入学  
2000年9月 大阪教育大学大学院教育学研究科修士課程卒業  
学位：学術修士（大阪教育大学）  
資格：図書館司書

### 職 歴

1987年4月 羽衣学園短期大学図書館司書  
1997年4月 京都精華大学情報館システム情報課  
2004年4月 大阪女学院大学国際・英語学部助教授  
2006年4月 大阪女学院大学学長補佐（2008年3月まで）  
2008年4月 大阪女学院大学副学長（2012年3月まで）  
2014年4月 大阪女学院大学ラーニングソリューションセンター長（2021年8月まで）  
2017年4月 大阪女学院大学教授  
2021年8月 大阪女学院大学退職

### 非常勤講師として勤務した大学

大阪教育大学 大阪女学院短期大学 京都精華大学 同志社大学 桃山学院大学

### 学会・社会における活動

日本情報図書館学会会員 2001年4月～現在  
日本図書館研究会会員 2001年4月～現在  
教育システム情報学会会員 2003年4月～現在  
情報知識学会 2014年12月～現在

## 研究業績

### I. 著訳書

- (1) 『21世紀の情報専門職をめざして：カナダとアメリカ合衆国における図書館情報学教育と情報環境』、関西大学出版部、1998.4、「各情報システム部分担当」

### II. 学術論文

- (1) 「LC MARC CD-ROM Edition について」、『情報の科学と技術』38巻6号、1988年6月
- (2) 「短大図書館での開放端末と書誌データの運営」、『現代の図書館』27巻2号、1989年6月
- (3) 「キャンパスポータルによる図書館サービスのパーソナライゼーション」、『大学図書館研究』66巻、2002年12月
- (4) 「情報リテラシー科目のeラーニング化に伴う学習支援体制」、『現代の図書館』45巻4号、2007年12月
- (5) 「初年次教育における小論文作成過程の質的研究：情報リテラシー教育に求められる学習資源と支援」、『大阪女学院短期大学紀要』41号、2011年3月
- (6) 「導入教育におけるタブレット端末を活用した全学反転授業：事前ビデオ視聴とリアルタイム評価による効果」『論文誌 ICT 活用教育方法研究』17巻1号、2014年11月

### III. その他の著作（研究ノート、報告書、雑誌、新聞、ニュースレター等）

- (1) 「LC MARC CD-ROM からのデータ変換」、『医学図書館』36巻2号、1989年
- (2) 「ブロードバンドコンテンツの制作と配信による e-learning の実証実験」、『京都精華大学紀要』、2003年3月
- (3) 「情報導入科目における LMS の適用と運営」『大阪女学院大学紀要』、2号、2005年
- (4) 「H16年度女性のキャリア形成のための情報リテラシー獲得支援事業報告書」、大阪府立女性総合センター女性のキャリア形成支援事業実行委員会 2005年3月
- (5) 「H17年度女性のキャリア形成のための情報リテラシー獲得支援事業報告書」、大阪府立女性総合センター女性のキャリア形成支援事業実行委員会 2006年3月
- (6) 「H18年度女性のキャリア形成のための情報リテラシー獲得支援事業報告書」、大阪府立女性総合センター女性のキャリア形成支援事業実行委員会 2007年3月
- (7) 「Weblog 利用による科目間協同学習の取組：情報教育と英語教育の融合」、『大阪女学院大学紀要』4号、2007年
- (8) 「大学一年生を対象とする学習スキル教育とキャリア教育の融合」、『大阪女学院大学紀要』5号、2008年

- (9) 「現在の図書館情報学教育に対する要請について考える」, 『桃山学院大学総合研究所紀要』 36 巻 1 号, 2010 年 6 月
- (10) 「図書館情報学教育のフィロソフィーの検討と教育サービスのあり方に関する再考」, 『桃山学院大学総合研究所紀要』 38 巻 1 号, 2012 年 8 月
- (11) 「書評:ブックビジネス 2.0 –ウェブ時代の新しい本の生態系」, 『図書館界』63 巻 1 号, 2012 年 6 月
- (12) 「情報リテラシー教育における e ラーニング化とパブリック・クラウドの利用」, 『京都精華大学紀要』 40 号, 2012 年
- (13) 「情報共有社会における情報リテラシー教育: タブレット端末利用による学習環境の変容」, 『大阪女学院短期大学紀要』 43 号, 2014 年 3 月
- (14) 「タブレット端末を活用した反転授業の評価と分析: 過去 9 年間の授業評価の推移比較から」, 『大阪女学院大学紀要』 13 号, 2016 年 3 月
- (15) 「共通 ICT プラットフォームの活用 マルチデバイスに対応する組織体制」, 『IDE: 現代の高等教育』, 585 号, 2016 年 11 月
- (16) 「ICT 技術の進展と組織体制: タブレット端末導入に伴う学修支援組織の役割」, 『私学経営』, 504 号, 2017 年 2 月
- (17) 「大学初年次を対象とする研究倫理教育: e ラーニングコンテンツを活用した試み」, 『大阪女学院大学紀要』, 16 号, 2020 年 3 月
- (18) 「情報リテラシー教育におけるエンベディッドライブラリアン」, 『大阪女学院大学紀要』, 17 号, 2021 年 3 月

#### IV. 学会発表

- (1) 「情報リテラシー科目の e ラーニング化と図書館の役割」, 日本図書館研究会第 47 回研究大会, 於: 桃山学院大学, 2006 年 2 月 19 日
- (2) 「e-Learning システムによる学習を支えるメディアについて」, 日本認知心理学会第 4 回大会, 於: 中京大学, 2006 年 8 月 1 日
- (3) 「e-Learning システムによる学習の成立基盤について: ユニバーサル・サービスのあり方」, 日本教育心理学会 48 回総会, 於: 岡山大学, 2006 年 9 月 17 日
- (4) 「携帯電話・ブログを利用した新しい行動記録法の開発」, 日本認知科学会第 23 回大会, 於: 中京大学, 2006 年 8 月 3 日
- (5) 「e-Learning システムによる学習の成立基盤について: 学習場所のあり方」 日本心理学会大会第 70 回, 於: 福岡国際会議場, 2006 年 11 月 4 日
- (6) 「大学生・社会人の日常生活における学習活動」, 日本教育心理学会 50 回総会, 於: 東京学芸大学, 2008 年 10 月 12 日
- (7) “University student learning in everyday life activity: Place, time, and media”, International Vygotsky Workshop ISCAR, Wollongong University, 19, Feb, 2007.
- (8) 「情報リテラシー科目と個別学習空間としての図書館」, 日本図書館研究会第 246 研究

例会，於：大阪女学院大学，2007年8月4日

- (9) 「デジタルレファレンスによる個別学修支援」，日本図書館研究会 第369回研究例会  
於：オンライン，2021年7月24日

## V. その他の発表（シンポジウム，講演，放送等）

- (1) 「キャンパスポータルによる図書館のサービス戦略」東北地区大学図書館協議会合同研修会，於：弘前大学，2004年7月30日
- (2) 「MP-Meister 大学教育への適用」，(株)リコーフォーラム，於：東京ドームホテル，2006年7月12日
- (3) 「大学における基盤教育としての情報発信」，桃山学院大学司書課程，於：桃山学院大学，2007年11月26日
- (4) 「大学と大学図書館の未来」，桃山学院大学司書課程，於：桃山学院大学，2010年10月26日
- (5) 「iPad を活用した全学情報リテラシー教育と学習支援情報の共有」，第19回大学教育研究フォーラム，於：京都大学，2013年3月14日
- (6) 「導入教育におけるタブレット端末を活用した全学反転授業」，私立大学情報教育協会：ICT 利用による教育改善研究発表会，於：東京理科大学，2014年8月8日
- (7) 「ユビキタス学修支援組織の創設：ICT 教室から全空間の学習支援へ」，私立大学情報教育協会：教育改革 ICT 戦略大会，於：私学会館，2014年9月5日
- (8) 「教育のための ICT 活用第9回：大学の授業と ICT 活用」，放送大学，於：BS 放送，2017年6月8日
- (9) 「丸本郁子先生の足跡：戦う図書館人が未来に残したもの」，日本図書館研究会・図書館を学ぶ相互講座第6回，於：オンライン，2021年9月25日